

—自宅で採取し、送るだけ!まずは簡単・便利な郵送検診で早期発見を!—

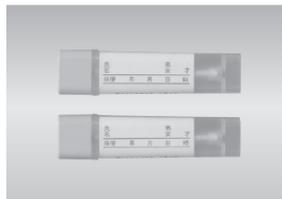
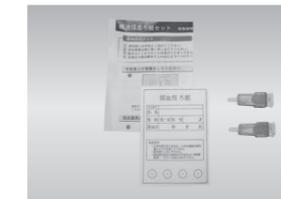
がん自己検診のご案内

当健康保険組合では、皆様のより一層の健康維持増進のため、がん検診の費用について、原則、全額補助を行っています。この機会にぜひ、ご受診ください。

ご注意ください。

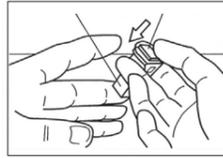
注意① 40歳以上の被扶養者については、特定健診などの健診を受診した(する)場合に限り、がん検診の費用が全額補助となります。健診を受診していない場合は、自己負担が発生します。

注意② 生活習慣病予防健診等にあわせてがん検診を受診する場合は、この自己検診を受診しないでください。重複受診は全額自己負担となります。

<p>大腸がん (便潜血反応検査)</p> <p>対象者: 35歳以上</p>  <p>●2日分の便を採取します。 ●便をとりやすい採便シート付き</p>	<p>肺がん (喀痰細胞診)</p> <p>対象者: 35歳以上</p>  <p>●3日分の痰を採取します。</p>	<p>前立腺がん (PSA検査)※</p> <p>対象者: 35歳以上男性</p>  <p>●血液をろ紙に染み込ませます。 ※下記注意事項参照</p>	<p>子宮頸がん (細胞診)</p> <p>対象者: 20歳以上女性</p>  <p>●子宮頸部の細胞を採取します。 ※妊娠中の方は申込みできません。</p>
---	--	--	---

※前立腺がん検診の注意事項

- 専用の器具を使って指先から血液を採取し、血液中のPSA(前立腺特異抗原)を測定します。
- 特定の疾患の治療中で、薬剤(ヘパリン・ワーファリン・ウロキナーゼ等)を服用し、止血機能が低下している方は検査の申込みができません。
- 前立腺や泌尿器関連の疾患で治療中の方、特定薬物(抗男性ホルモン剤等)使用中の方、長年寝たきりになっている方は正確な検査結果が出ないことがあります。



※血液採取の様子

- 実施期間** : 2025年4月1日~2026年3月31日まで
- 申込方法** : 申込ハガキ、又は、申込書に必要事項をご記入の上、直接検査機関に郵送、又はFAXしてください。(申込書は当健康保険組合のホームページからダウンロードできます)
- 検査器具** : 順次検査機関より申込書記載住所に郵送されます。(3月中に申込みはできますが、発送は4月以降になります)
- 検査結果** : 検体到着後約2週間で申込書記載住所に郵送されます。
- 検査機関** : メスブ細胞検査研究所 京都市中京区高倉通二条下ル瓦町550 メスビル内
TEL (075) 231-2230
FAX (075) 211-7400

※対象年齢は年度内にその年齢に到達する方を含みます。
 ※検体は採取後できるだけ早く返送してください。
 ※検体返送時の切手代は自己負担になります。

がん検診、「忙しいから」「面倒だから」と放置していませんか?

ご都合のいい時に採取して返送するだけ!
検診機関に向かずに、自宅でできる検査です。



大腸がん検診 大腸がんは増え続けています。 毎年検診を受けて!

「大腸がん」 最新の予測

罹患者数 **第1位**
 がんでの死亡原因 **女性第1位**
男性第2位

◆早期発見・早期治療により、
ほぼ100%完治できます!

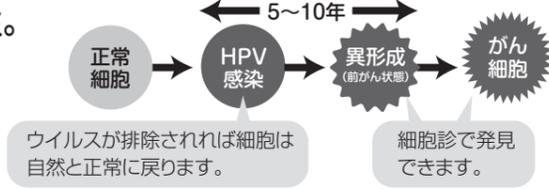
年に一度検診することで
早期発見につながります。
昨年陰性だった方も
受診しましょう!

出典: 国立がん研究センターがん情報サービス
最新のがん統計予測

子宮頸がん検診 検診を定期的に受ければ予防できます。 20~30歳代の女性が最もかかりやすいがんです

◆子宮頸がんはヒトパピローマウイルスの感染により発生。

子宮頸がんになるまでに通常数年から10年以上かかります。
定期的な子宮頸がん検診を受けていれば、早期に発見し治療することが可能です。



正常細胞 → HPV感染 → 異形成(前がん状態) → がん細胞

ウイルスが排除されれば細胞は自然と正常に戻ります。 細胞診で発見できます。

◆初期や前がん状態では自覚症状はほとんどありません。 毎年受診しましょう!

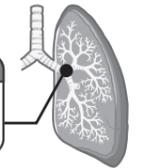
肺がん検診 中心型肺がんを早期に発見できます。 “PM2.5が気になる方も”

◆胸部レントゲン検査で見つかりにくいタイプのがんに有効です。
◆喀痰細胞診は中心型早期肺がんの唯一のスクリーニング法です。

〈こんな方は受診を!〉

- たばこを吸う、又は、吸っていた
- 受動喫煙が気になる
- 大気汚染(PM2.5など)が気になる

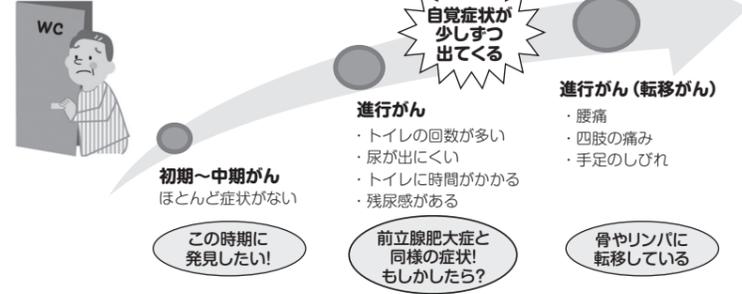
肺門部・中心型肺がん
喫煙者に多い…せき、たん、血痰などの症状
※喀痰検査で発見!
肺が脊柱・心臓に隠れるためレントゲンでは見にくい



前立腺がん検診 急増しています!

症状が出て病院を受診した場合、約40%が転移がんに行進しています。
自覚症状のない初期に発見し、適切な治療をすることが大切です。

特に50歳以上の方は年に一度は検診を!



初期~中期がん ほとんど症状がない
この時期に発見したい!

進行がん
・トイレの回数が多い
・尿が出にくい
・トイレに時間がかかる
・残尿感がある
前立腺肥大症と同様の症状!もしかしたら?

進行がん(転移がん)
・腰痛
・四肢の痛み
・手足のしびれ
骨やリンパに転移している

結果が有所見であった方は、必ず精密検査を受けましょう。

検査機関では、受診者の方にあつた病院のご紹介・紹介状の作成(無料)も行っていますので、お気軽に検査機関にお問い合わせください。

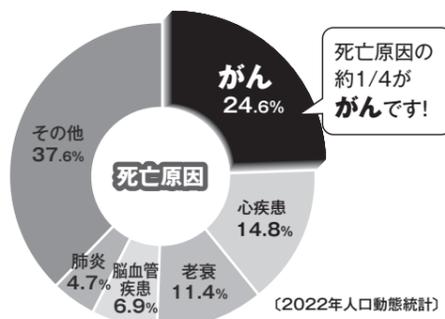
毎年必ず受けましょう!がん検診!

がんは予防できる時代です。

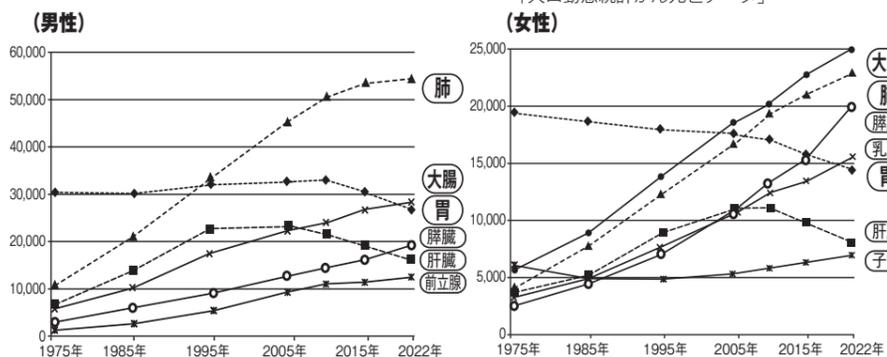
誰でもがんになる可能性があります

一生の間に2人に1人ががんになる時代ですが、
早期発見で適切な治療をすれば、健康な日々を過ごすことができます。

【主な疾病の死亡原因に占める割合】



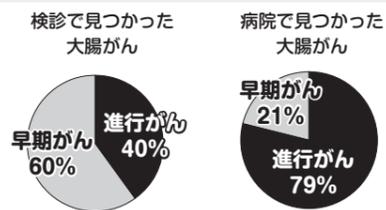
【主ながん部位別死亡者推移】



自覚症状がなくても、まず検診

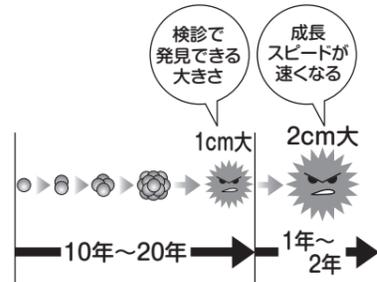
早期のがんに自覚症状はありません!
がんを早期に見つけ、治療するためには、自覚症状がない時にこそ定期的に検診を受けることが大切です。

自覚症状を感じて病院で発見されたがんは79%が進行がんです。



毎年検診を受けることが重要

がんの大きさが1~2cmくらいまでを「早期がん」といい、この段階で治療を受ければ完治も可能です。
検診で発見できるこの1~2cmの大きさになるには、10~20年かかりますが、1cmのがんが2cmの大きさになるのにはたった1~2年しかかかりません。だから、毎年がん検診を受けることが重要なのです。



結果が陽性の時は、速やかに精密検査を受けましょう

検診は「自覚症状のない人」から「がんかもしれない人」を見つけるスクリーニング検査です。がん以外の何らかの疾患が隠れていることもあります。自覚症状がないから大丈夫!と思わず、すぐに精密検査を受けましょう。

毎年必ず大腸がん検診を受けましょう!

大腸がんは

かかる人
年間155,625人
第1位

亡くなる人
年間53,088人
第2位

国立がん研究センター
がん情報サービス「がん統計」
罹患:2019年 死亡:2022年

毎年検診を受ける人は、大腸がんによる死亡率が約70%低下すると厚生労働省が発表しています。

腸内環境を整えて免疫力UP!



腸は栄養素を吸収する役割の他に、自律神経や免疫細胞が集まり細菌やウイルスなどの有害なものを排除する機能を担っている重要な器官です。腸内環境を整えることで免疫機能を高めることができると言われています。

腸内環境をよくすることは、消化・吸収・排泄の正常化、免疫力の向上、腸内細菌の毒素産生を低下させ、メタボの改善、ストレス耐性を高めます。さらに、がん・アレルギー・過敏性腸症候群・便秘のリスクを低下させることにもつながります。



大腸がん検診受診者の声より

60代男性
今回初めて陽性の結果で早期のがんが見つかりました。自覚症状もなく、まさか私か、と思いましたが、早期発見ができて感謝しています。検査の大切さを家族や周りの人に伝えたいです。

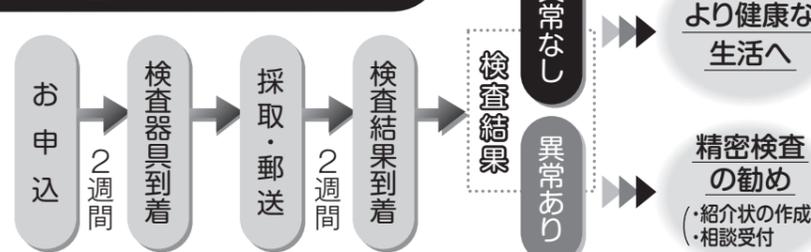
50代女性
出血は“痔”のせいだと思い放置していましたが、再度の受診勧奨で受診。ポリープが見つかり、このままにしていたら“がん”になっていたかも、と言われました。検査がこわい、私もそう思っていました。受診してよかったです。

40代女性
検査が不安でなかなかふみきれませんでした。子供も生まれたところだったので思いきって受診。その結果、小さなポリープが見つかり切除しました。今は安心して生活しています。

30代男性
内視鏡で、今回は異常なしでしたが、健康に関心を持つ良いきっかけになりました。年に一度の便潜血検査は必ず受けようと思います。

【注意事項】
・郵送検診は自覚症状のない方を対象にしています。すでに自覚症状や気になることがある方は医療機関をご受診ください。
・郵送検診はスクリーニング検診(一次検診)であり、検診結果は病名を診断するものではありません。「要精密・陽性」の結果が出た場合は、速やかに医療機関を受診されることをお勧めします。
・郵送検診の検査結果のみで病名を診断できるものではありません。「異常なし・陰性」の結果の方も、自覚症状や気になることがある方は医療機関を受診されることをお勧めします。

郵送検診のシステム



京都府医師会 臨床検査制度管理調査
京都府臨床検査技師会 協力施設
日本臨床衛生検査技師会

メスス細胞検査研究所

京都府登録衛生検査所第38号
〒604-0827 京都市中京区高倉通二条下る瓦町550 メスビル内
TEL.075(231)2230
FAX.075(211)7400
https://www.msp-kyoto.co.jp
E-mail:mail@msp-kyoto.co.jp